



南部町立南部中学校 学校だより 第18号

チーム南部中

令和3年12月23日(木)

校長 望月和彦

実り多き2学期も明日で終了！

8月27日に始まった2学期も、明日12月24日で終了します。授業日は81日で、大きな行事もたくさんありました。全国的な感染症拡大により無観客での開催となった第11回輝城祭では、テーマ「つながり」のもと生徒たちが試行錯誤と工夫を重ねて新たな輝城祭をつくりました。1・2年生主体の初の公式戦である新人戦では、全ての部が南部中の名を背負って精一杯戦い、5つの部が県大会に出場しました。そして、感染症のために延期となり、方面も変更となった修学旅行。広島・京都・奈良の事前学習はいかすことができませんでしたが、長野・富山・富士北麓の自然や歴史・文化の素晴らしさを感じ、仲間と心に残る思い出をつくることができましたと思います。11月には午前・午後の2部形式という初の試みで開催した音楽発表会がありました。生徒が主体となった取り組みができ、学級合唱、学年合唱ともに歌っている生徒も、聴いている観客もともに感動できる発表会になりました。12月には生徒会役員選挙が行われ、生徒会活動も3年生から2年生にバトンが渡されることとなります。一方で、3年生は2度の教育課程到達度確認検査(教達検)を受検し、二者面談や三者面談を通して、自分の卒業後の進路を選択し、希望進路の実現に向けて全力を傾けています。輝城祭や音楽発表会、修学旅行などの成功は、生徒たちが取り組み期間に準備や練習を頑張っただけで成し遂げられたわけではありません。普段の学校生活



や日常の活動の中で、中学生としてのより良い在り方、集団としてのレベルアップを、考えながら生活し、大切にしてきたことに要因があると思うのです。全体としてみると、多くの生徒や集団に成長が見られ、実り多き2学期になりました。しかし、生徒一人一人や学級・学年、そして学校全体を考えると様々な課題もあります。3学期に向けて、そうした課題に生徒と教職員がきちんと向き合い、改善策を考え、できることから一步一步取り組んでいきたいと思っています。

明後日の25日から17日間の冬休みになります。感染症にはくれぐれも注意して、宿題や家庭学習、家族の一員としてやるべき事はしっかりやり、友だちや地域とのつながりも大切にしながら、充実した冬休みにしてほしいと思います。1月11日の始業式で笑顔の生徒たちと会えることを楽しみにしています。

高校生から学ぶ 「キャリアセミナー」

12月15日(水)に体育館で「キャリアセミナー」が行われました。この行事は連携型中高一貫教育校の事業の一つで、身延高校1年生が本校の2年生に高校のキャリア教育の中で学んだ成果を発表し、中高生が膝を交えて語り合う行事です。高校生が、農業従事者、水族館職員、料理人、エステティシャン、声優、プライダフルプランナー、保育士、放射線技師についてそれぞれ調べ、従事している方にインタビューしたり、実際に見学したりして、まとめた内容を中学生に発表してくれました。中学校でも職業調べやワイド相談、職場体験学習などで、職業についての学習を進めていますが、高校生になると見たり、聞いたりした内容だけでなく、そこから気付いた職業の課題についても調査し、自分たちで考察して、考えを発表していました。中学生にもわかりやすく模造紙に図を書いたり、写真を張ったり、興味を持って聞いてもらえるようにクイズを取り入れたり、説明する方法も工夫していました。この日のために多くの時間を使って、準備、練習してきてくれたことが想像できる発表でした。高校生30人ほどが8つのブースに分かれ、同じく8グループに分かれた中学生が移動しながら3箇所で開催を聞きました。最初は高校生も中学生も緊張気味でしたが、本校の卒業生もたくさんいたことから次第に和やかな雰囲気になり、積極的に高校生に質問する様子も見られました。質疑応答では、職業に関する質問だけでなく、「高校をどのように選択したのか」「身延高校の良いところは何か」など、進路選択や高校生活に関わるやりとりもありました。本校の2年生にとっては、身近な先輩の成長した姿を感じながら、職業や進路についての知識を深めるとともに、伝えたい内容について聞き手にわかりやすく伝える方法についても学ぶ機会になりました。



地域の職業人から学ぶ 「職業ワイド相談」

12月21日(火)の5・6校時に1年生の「職業ワイド相談」を実施しました。身近な地域で様々な職業に従事している方々を講師に招き、それぞれの職業に関わる話をしてもらったり、生徒の質問に答えてもらったりすることを通して、職業についての理解を深めるとともに、働くことの意義や目的を考えることを目的にしています。今年度の講師は、保育士の望月純さん(富河保育所)、飲食店経営・調理師の佐野英俊さん(南部路)、看護師の齋藤峻さん(身延山病院)、警察官の若林誠さん(南部警察署)、介護福祉士の塩川寛人さん(南部の郷)の5人です。1回20分間の学習会が3回行われ、生徒たちは聞きたい講師のいる部屋を3箇所めぐって学習しました。話の内容が紙に丁寧にまとめられていたり、説明資料が配られたり、制服や作業着のまま話をしてくださったり、パソコンを使って説明用の画像を用意してくださったり、この日のために講師の方々が苦勞して準備してくださったことがよくわかりました。生徒たちは、それぞれの職業の仕事内容、やりがいや喜び、苦勞や大変さ、必要な技術や資格、その職業に就いたきっかけなどを講師から聴かせてもらうとともに、将来職業を選択する上でのアドバイスなどもいただいていた。2年生で行う職場体験学習に向けても、とても貴重な時間になりました。講師の皆様、ありがとうございました。



吹奏楽部1・2年生がコンテスト出場

12月18日(土)に、第45回山梨県アンサンブルコンテストがYCC県民文化ホールで開催されました。例年、このコンテストには吹奏楽部員数名が選抜チームで出場してきただけですが、今年度は1・2年生が8名しかいないことから、「管楽打楽器八重奏」として部員全員で出場しました。8名の内、2年生が3名しかいないという厳しい状況でしたが、当日の1週間前から放課後1時間の活動延長を行い、この日のために一生懸命頑張ってきました。前日は、音楽室で教職員を観客にプレ発表会も行いました。そして当日、県民文化ホールの大きなステージで、たくさんの観客が見守る中「Flower Crown」を演奏しました。結果は「銅賞」でしたが、他校が2年生中心の選抜チームで出場している中、1・2年生全員が気持ちを一つにして精一杯演奏している姿が心に残りました。放課後練習の迎えに協力していただいたり、当日も遠くまで応援に来ていただいたりした保護者の皆様に感謝いたします。



様々な文化面での活躍(前々号に続き)

【第71回県下小中学校 教育祭 図工・美術作品展】

県特選 1年:市川瑛士, 田中海成 2年:依田大輝 3年:木内紗世, 早川 涼
地区入選 1年:10名 2年:13名 3年:12名(多数のため氏名は省略)

【南部町福祉作文】入賞 「ふれあい なんび」小中学生福祉作文集(第19集)に掲載されました

1年:狐塚美桜, 若林実希 2年:籙持 唯, 遠藤 爽 3年:早川月菜, 石川侑音

【JA 共済全国交通安全ポスターコンクール山梨県大会】佳作 2年:渡辺萌日香

【第65回山梨県小中学校創作力くらべ B部門】支部入選 1年:石原あゆみ

峡南地区、山梨県の代表として

12月4日・5日に第58回山梨県一周駅伝競走大会が行われ、3年の望月玲さんが「西八代・南巨摩チーム」の中学生女子代表として2区に出場しました。中学生選手は陸上部員が多い中、区間18人中12位と健闘しました。



12月26日から28日に大阪で第35回ジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学バレーボール大会が開催されます。県選抜チームの選手として3年の佐野昇熙さん、山田流稀さんが出場します。昇熙さん、流稀さんと山梨県選抜チームの健闘を祈ります。